

平成28年度 憲法週間行事

「講演と映画の集いin府中」

～障害への更なる理解に向けて～

みんなで築こう 人権の世紀

～ 考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心 ～



講演

「いちばんじゃなくて、いいんだね
～生まれてきてくれて、ありがとう～」

講師

松野 明美氏 (元オリンピックランナー・タレント・熊本県議会議員)

子育てで大切なことや、息子の障害に向き合って家族とともに歩んできた日々について、松野明美さんに御講演いただきます。

手話通訳及びパソコン要約筆記を実施

映画上映

「グレート デイズ! -夢に挑んだ父と子-」

文部科学省選定 (2014年公開・フランス)



©2014 NORD-OUEST FILMS - PATHÉ PRODUCTION - RHÔNE-ALPES CINÉMA

頑固で不器用な父と反抗期の車いすの息子がともに過酷なアイアンマンレースに挑戦する、爽やかな感動に温かな涙が溢れるヒューマンドラマ

【監督/共同脚本】ニルス・タヴェルニエ 【キャスト】ジャック・ガンブラン/アレクサンドラ・ラミー/ファビアン・エロー

日本語字幕付きで上映

人権啓発パネルの展示等

平成**28**年**5**月**13**日(金)
13時30分から 17時(開場13時)

入場無料

当日会場先着順

事前申込不要

施設定員494名

会場

府中グリーンプラザ けやきホール

所在 東京都府中市府中町一丁目1番1号

交通 京王線「府中駅」下車徒歩1分

御来場には公共交通機関を御利用ください。*駐車場、駐輪場はありません。

託児室を設置(対象: 1歳以上の未就学児《要予約》) 定員10名(申込順)

託児室を利用御希望の方は、5月6日(金)17時までに、東京都総務局人権部 電話 03-5388-2588 FAX 03-5388-1266 まで御連絡ください。



《京王線利用の場合》

府中駅下車徒歩1分 新宿から約25分

《JR中央線利用の場合》

武蔵小金井駅または国分寺駅下車 府中駅行バス終点

- 主催 東京都人権啓発活動ネットワーク協議会
(東京都・東京法務局・東京都人権擁護委員連合会・公益財団法人人権擁護協会)、府中市
- 協賛 公益財団法人東京都人権啓発センター

- 問合せ先 東京都総務局人権部
東京法務局人権擁護部
府中市政策総務部政策課

電話 03-5388-2588
電話 03-5213-1366
電話 042-335-4006

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



5月1日から7日までは「憲法週間」です。

日本国憲法は、自己の生命と自由を確保し、幸福を追求する権利、「基本的人権」を保障しています。憲法週間にちなみ、障害の有無にかかわらず、お互いを尊重し支え合いながら共に生活する社会の実現に向けて「講演と映画の集いin府中」を開催します。皆様お誘い合わせの上、ぜひ御来場ください。



講師紹介 松野 明美氏 (元オリンピックランナー・タレント・熊本県議会議員)

1968年、熊本県生まれ。

駆け足が遅く、いじめられっ子でおとなしい性格だったが、小学校5年生のときに出場した町内陸上大会で優勝。1位でゴールしたときの両親の笑顔がうれしくて、マラソンに目覚め、「いちばんを目指す人生」が始まる。

高校卒業後、ニコニコドーに入社し、陸上部に所属。1987年、全日本実業団対抗女子駅伝に初出場し、12人をごぼう抜きする。これにより一躍注目のランナーとなる。1988年、ソウルオリンピック1万メートル競技に出場。人の2倍、3倍、それでもだめなら4倍の猛練習をし、数々の記録を残す。引退後、結婚し、2002年、長男・輝仁(きらと)が誕生。翌年、次男・健太郎がダウン症という障害を持って生まれる。「明るく元気な松野明美」のイメージが崩れてはいけなくと健太郎を一生隠そうと決心するが、日々の成長や笑顔が、著者の心を少しずつ変化させる。健太郎の子育てを通じて、「人生は人との競争じゃない、いちばんじゃなくてもいい」と気づかされる。

現在は、自身のマラソンや子育ての経験をもとに、講演、タレント、ゲストランナーなど幅広く活動をする。

著書に『いちばんじゃなくて、いいんだね。』(アスコム刊)がある。

松野明美 公式サイト <http://www.matsunoakemi.net>

演題

「いちばんじゃなくて、いいんだね ～生まれてきてくれて、ありがとう～」(60分)

手話通訳及びパソコン要約筆記を実施

映画紹介

「グレート デイズ! - 夢に挑んだ父と子 -」(2014年公開・フランス・90分)

文部科学省選定

日本語字幕付きで上映

車いすの生活をおくる17歳のジュリアンは、失業して久しぶりに帰って来る父ポールとの再会を楽しみにしていた。だが、息子とどう接していいかわからないポールは、口をきこうともしない。そんな父にジュリアンは、とんでもない提案を突きつける。「父さんと、アイアンマンレースに出たい。」

若い頃にトライアスロン出場経験を持つポールだが、「ムリだ」のひと言で一蹴する。アイアンマンレースは、トライアスロンの中でも最難関。鍛え抜かれたスポーツマンでも過酷なレース。しかし、負けず嫌いのジュリアンは諦めない。様々な作戦を企て父を説得。さらには、心配性の母をも説き伏せ晴れてチーム結成となる。

「これまでの時間を取り戻す。」「もう子供じゃないことを、認めさせる。」ふたりの無謀すぎる挑戦は、やがて周囲の人々を巻き込んで、皆の夢へと変わっていく。そして迎えた運命の日、様々な困難を乗り越えた<グレートデイズ>にゴールは来るのか?

【監督/共同脚本】ニルス・タヴェルニエ

【プロデューサー】フィリップ・ポエファール/クリストフ・ロシニョン

【音楽】バルディ・ヨハンソン

【撮影監督】ローラン・マチュエル

【編集】ヤン・マルコール

【キャスト】ジャック・ガンブラン/アレクサンドラ・ラミー

ファビアン・エロー

【提供】ギャガ/カルチュア・パブリッシャーズ

【配給】ギャガ GAGA★



© 2014 NORD-OUEST FILMS - PATHÉ PRODUCTION - RHÔNE-ALPES CINÉMA

平成28年度啓発活動年間強調事項 (法務省)

- 女性の人権を守ろう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者の人権を守ろう
- 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- 同和問題に関する偏見や差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう
- 外国人の人権を尊重しよう
- HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見や差別をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう
- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
- 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- 性的指向を理由とする偏見や差別をなくそう
- 性同一性障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- 人身取引をなくそう
- 東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう

東京都人権啓発活動ネットワーク協議会HP http://www.moj.go.jp/jinkennet/tokyo/tokyo_index.html

東京都総務局人権部HP「じんけんのとびら」 <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/10jinken/tobira/>

公益財団法人人権擁護協会HP <http://jinken-kyouryokukai.jp/>